

IWCシャフハウゼン、フライング・ミニッツ・トゥールビヨンを搭載した18Kレッドゴールド製の「インチュニア・トゥールビヨン 41」を発表

シャフハウゼン/ジュネーブ、2026年4月14日。IWCシャフハウゼンは、ジュネーブで開催されるウォッチズ&ワンダーズで「インチュニア・トゥールビヨン 41」を発表します。インチュニアの新しいフラッグシップモデルは、18Kレッドゴールド製ケースとプレスレットに、オリーブグリーンの「グリッド」文字盤を組み合わせています。特徴的なのは1分間で1回転する6時位置のフライング・ミニッツ・トゥールビヨンです。このエレガントで洗練されたラグジュアリー・スポーツウォッチは、サテン仕上げやポリッシュ仕上げなどの高度な仕上げ技術によってさらに存在感を強めています。セラミック部品を用いたペラトン自動巻きシステムを搭載したIWC自社製キャリバー82905は、サファイアガラス製ケースバックを通して鑑賞することができます。

IWCシャフハウゼンは新しいインチュニアで、ジェラルド・ジェンタが1970年代に生み出した、大胆で先見性のあるデザインを再考し、改良された人間工学と緻密な仕上げを組み合わせました。2023年に「インチュニア・オートマティック 40」を発表して以来、スイスの高級時計マニュファクチュールであるIWCシャフハウゼンは、新たなサイズ、素材の展開、そしてクルト・クラウスによる象徴的なリュース制御の永久カレンダーなどの複雑機構でコレクションを継続的に拡充してきました。そしてこの度、高級時計製造において「複雑機構の女王」と称されるトゥールビヨンを搭載した特別な新たなモデルを発表します。

100本限定生産の「インチュニア・トゥールビヨン 41」(Ref. IW345901)は、18Kレッドゴールド製の41.6 mmのケースと一体型プレスレットを備えています。個性的なベゼル、リュースガード、そしてリュースも同じ貴金属が用いられています。ベゼルをケースリングに固定する機能的なネジは、従来のゴールド合金よりもはるかに硬度の高い素材である18 ct Armor Gold®製です。インチュニアの特徴的な「グリッド」パターンが施された独特な構造の文字盤が、魅力的な質感と深みをもたらし、そのダークオリーブグリーンの色合いがゴールドと美しいコントラストを織り成します。針にはゴールドメッキが施され、手作業でひとつひとつ取り付けられるアブライド・インデックスはゴールド製です。さまざまな技術を融合させた「インチュニア トゥールビヨン 41」は、外観上の仕上げにも非常にこだわっています。ケース、

ベゼル、プレスレットのリンクはサテン仕上げで、エッジはポリッシュ仕上げ。ゴールドは「インチュニア」の複雑なラインとアングルを特に際立たせ、ジェラルド・ジェンタにインスピレーションを得たデザインの彫刻的な美しさを強調します。

6時位置に配置された最先端の トゥールビヨン

テン輪と脱進機を小さなケージに収めたこのトゥールビヨンは、1分間に1回転します。そのような連続的な回転により、振動する部品にかかる重力の影響が抑えられ、高い精度を実現します。「インチュニア・トゥールビヨン 41」のフライング・ミニッツ・トゥールビヨンは6時位置に配置され、ゴールドコーティングが施されたブリッジから吊り下げられており、視覚に訴える魅力的な景観を生み出します。56個の部品で構成されるこの繊細な機構の重量は、わずか0.635グラム。トゥールビヨンは部品の数が多く、そのサイズが極めて小さいため、時計職人が組み立てる複雑機構の中で最も複雑なもののひとつとされています。トゥールビヨン停止機構が組み込まれているので、機構を完全に停止させることができ、秒単位の精度で時刻を調整することができます。アンクルとガンギ車は、ダイヤモンド・シェル (Diamond Shell®) テクノロジーが施されており、この革新的なコーティングは摩擦を低減し、ムーブメントのエネルギーの流れを向上させます。

ペラトン自動巻き機構を装備した
高級ムーブメント

「インチュニア・オートマティック 41」は、IWC自社製
キャリバー82905を搭載しています。効率に優れたペラ
トン自動巻き機構は、ローターの両方向への動きを利用
し、80時間のパワーリザーブを主ゼンマイに蓄えます。非常
に大きな負荷のかかる巻き上げ機構の部品は、実質的に摩
耗のない酸化ジルコニウム・セラミックで作られています。
そのような部品である自動巻きホイールと歯車止めはブ
ラック・セラミック製、ローターのベアリングはホワイト・
セラミック製です。ムーブメントにも細部にこだわった仕
上げが施されています。たとえば、自動巻きブリッジと
ローターにはいずれもゴールドメッキが施され、コート・
ド・ジュネーブで装飾されています。また、ローターには
IWCの職人技と品質へのこだわりを象徴するゴールド製の
「Probus Scafusia」のメダルが組み込まれています。

インヂュニア・トゥールビヨン 41

REF. IW345901

特徴

機械式ムーブメント、ペラトン自動巻き機構、6時位置にフライング・ミニッツ・トゥールビヨン（停止機構付き）、ねじ込み式リユーズ、サファイアガラスのシースルー裏蓋、100本限定生産

ムーブメント

IWC自社製キャリバー	82905
振動数	28,800回／時 (4 Hz)
石数	25
パワーリザーブ	80時間
巻き上げ	自動巻き

時計

素材	18Kレッドゴールド製ケース、オリーブグリーンの文字盤、ゴールドメッキの針、18Kレッドゴールド製アプライド・インデックス、18Kレッドゴールド製一体型プレスレット、バタフライ・フォールディング・クラスプ
ガラス	両面反射防止加工を施したドーム型サファイアガラス
防水性	10気圧
直径	41.6 mm
厚さ	12.1 mm

IWCシャフハウゼン

IWCシャフハウゼンは、スイス北東部のシャフハウゼンに拠点を置く、スイスの大手高級時計メーカーです。ポルトギーゼやパイロット・ウォッチなどのコレクションを擁するこのブランドは、エレガントな時計からスポーツ時計まで、あらゆる種類の時計を扱っています。1868年、米国の時計技師でエンジニアでもあったフロレンタイン・アリオスト・ジョーンズが設立したIWCは、人間ならではの職人技と創造性、その最良の部分と最先端の技術および工程とを組み合わせ、時計製造に対する独自のエンジニアリングで知られています。

150年以上にわたる歴史の中で、IWCは精巧かつ丈夫で使い勝手のよいプロ仕様の計器時計や、複雑機構（とりわけクロノグラフとカレンダー機能）を組み込んだ時計をつくり、高い名声を得てきました。チタンやセラミックの採用の先駆者であるIWCは、現在、カラーセラミック、セラタニウム®、チタンアルミナイドなどの先進的な素材を用いた、高度なエンジニアリングと専門知識を駆使したケースも製造も行っています。

持続可能な高級時計の第一人者であるIWCは、責任をもって素材を調達し、環境への影響を最小限に抑えるための努力を惜しみません。透明性、循環、責任という3つの柱に沿って、このブランドは何世代にもわたって長持ちする時計をつくり、責任をもって製品を製造、流通、修理するためのあらゆる要素を継続的に改善しています。さらに、IWCは子供たちと青少年への支援に向けて世界的に活動している組織とも提携しています。

ダウンロード

18Kレッドゴールド製「インヂュニア・オートマテック 41」の画像は、press.iwc.comからダウンロードいただけます。

お問い合わせ

IWCシャフハウゼン

広報部門

Email press-iwc@iwc.com

Website press.iwc.com

インターネットおよびソーシャルメディア

Website iwc.com/ja

Facebook facebook.com/IWCWatches

YouTube youtube.com/iwcwatches

LinkedIn linkedin.com/company/iwc-schaffhausen

Instagram instagram.com/iwcwatches_jp

Pinterest pinterest.com/iwcwatches

#IWCwatches